



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

AAP 委員会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

E-mail:office30@alpajapan.org

www.alpajapan.org

Date 2012.7.11

No. 35 - 48

航空安全シンポジウム

in 福岡 実施報告

2012年7月4日、日乗連AAP委員会は、航空安全推進連絡会議福岡支部、航空労組連絡会福岡地方連絡会との共催により定例の航空安全シンポジウムを実施しました。

過日発生した関越道バス事故では、疲労が運輸業界にとって無視できない事を思い知らされました。またアメリカの運輸安全委員会がその報告書の中で「疲労」を事故の要因として挙げています。更に昨年12月にICAO（国際民間航空機関）は、疲労を「安全上の明確なリスク」として定義するようになりました。今年の航空安全シンポジウムでは、この「疲労」に対し科学的な見地から焦点を当て、ICAOを始めとする航空における国際的な流れや、国、組織そして個人が疲労を如何に管理していくかについて考え方を紹介致しました。また、昨今事故が発生時に組織の安全管理体制が適切であったかを問われることはありますが、「そもそも安全管理とはどういうことか」について語られることはあまりありません。そこでシンポジウム後半では、ICAOで規定される「安全管理」の基本的概念及び、航空のみならず安全な社会を確立する為の考え方について解説しました。

今回のシンポジウムへの参加者総数は62名、乗員以外にも管制官、客室乗務員、気象、地上支援、マスコミ、大学教授、一般からの参加と、大変幅の広い有意義なものとなりました。

<講演内容>

「疲労 -安全上のリスク-」

日乗連 HUPER 委員会 浅見 元規

「安全管理 -その基本と社会への適用-」

日乗連 AAP 委員会 高本 孝一

*日乗連 AAP 委員会では引き続き安全に関する取り組みを推進してゆきます

